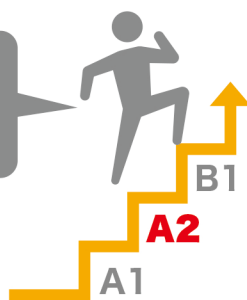


対象レベル

A2上位



A2上位、B1の回答例は「Speaking 発表」の9ページをご覧ください。

A2上位の特徴

身近なトピックに関して短い会話を行うことができます。

B1の特徴

ある程度知見のある内容のトピックであれば、社会的な問題などの簡単なディスカッションをしたり、意見を言ったりすることができます。

活動の具体例

テーマ例

下記のようなアイデアを使って右記のような活動が可能です。

おすすめの観光地

アメリカからの留学生数名があなたの街に来ます。どこに連れていきますか？3つの場所を考え、どうしてそこを選んだのか理由をつけてください。グループで話し合い、3つの場所を選んでください。

日本文化の紹介

シンガポールからの留学生があなたのクラスに来るので、日本の文化について発表しようと思います。日本の文化で3つ紹介すべきだと思うものをリストアップし、その理由を考えてください。グループで話し合い、3つを選んでください。

A2上位 → B1を目指すための指導案②

目標 簡単なディスカッションをしたり、意見を言ったりすることができる

目安時間
20分

準備物

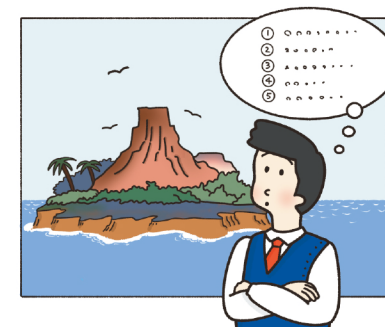
トピックカード(身近な問題)/タイマー/録音するもの(可能であれば)
トピック例: If you were about to go to a desert island and had to spend a few weeks there, what would you take with you?

ステップ

1

(全体)

- まず状況設定として、生徒たちがこれから無人島に行き、数週間そこで過ごさなければならないことを伝える。
- 各自に5つ持っていくものをリストアップしてもらい、なぜそう考えたか説明も考えてもらう。



ステップ

2

(グループ)

- 生徒を4人1組のグループに分ける。
- 1人ずつ、5つ持っていくものとその理由を説明してもらい、全員のアイデアの共有が終わったあと、グループ全体として5つだけ何を持っていくかを話し合い、グループとして最終決定をする。



ステップ

3

(全体)

- 各グループの結果をクラス全体で発表する。
- この場面で使えるいくつかの表現を板書し、その表現を使ってステップ1から3を違うトピックで行う(左記他のテーマ例)。



POINT

教師の関わり方: 英語の発話に慣れることが目標であるため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。ステップ3のあと、多くの生徒が間違えて表現していたものを1~2つ挙げ、黒板に正しい表現などを書いてクラス全体で確認するなど、全体で確認する程度にしてください。